



1. 次の文で正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。(30点)

- (1) 整経工程の仕事は、糊付や製織の能率および最終製品の品質に与える影響が非常に大きい。
- (2) 整経での風綿の巻込みは、糊付工程や製織工程での糸切れの原因となりやすい。
- (3) 定期的に機台、床の掃除を行うことは重要である。
- (4) 重さが同じ場合、太番手糸の方が糸長は長い。
- (5) 品質管理のために整経作業中の糸切れの原因を記録することは重要である。
- (6) 他のものと色が少し違う糸があっても、同じ箱から出した糸は、そのまま使用する。
- (7) クリールに通常燃りの糸を差す場合は、チーズ木管の着色部を裏にして差す。
- (8) ビームへの糸巻量を多くするために、糸張力はできるだけ強くする。
- (9) 糸切れや不正巻きを防止するために、空ビームは点検・確認することが必要である。
- (10) 糸切れ時に電気式糸切れ検知装置が完全に作動しないこともあるので、注意して運転する。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	○	○	×	○	×	×	×	○	○

2. 次の文の()の中のどちらかを選んで、①または②で答えよ。(30点)

- (1) 終業時には、糸屑や(①糊カス ②風綿)の付着防止のために、ビーム巻途中ではできるだけ停止しない。
- (2) ビームを運搬車にのせて押すときは、けが防止のために(①上方 ②前方)や曲がり角には、特に注意する必要がある。
- (3) テンション装置の角度や位置が同じ場合は、巻速度が速い方が、糸にかかるテンションは(①高い ②低い)。
- (4) 糸の本数が同じ場合、糸が太い方が、一つのビームに巻くことができる長さは(①長い ②短い)。
- (5) 一般的に(①H型クリール ②V型クリール)の方が、高速度型である。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
②	②	①	②	②